

私の 選択

5

静岡市駿河区でイチゴ「とちおとめ」「初恋の香り」をそれぞれ10ア、水稲20アを妻と栽培しています。主に東京の仲卸業者や市場を通して、東京都内の高級フルーツ専門店に販売しています。

収入保険は、経営を安定させる画期的な制度です。2018年にNOSAIから説明を聞いてまず、積立金があり掛金の一部が掛け捨てでない点に魅力を感じました。駿河区は沿岸部ということもあり、台風の被害も心配です。12年と18年に、台風でハウスが傾いたり、一部が壊れ

小澤 友治さん イチゴ、水稲 静岡県

る被害を受けました。

近年は自然災害が激甚化しています。同じ仲卸業者に出荷する千葉県のマンゴー農家は、昨年の台風被害で廃業せざるをえなくなりました。

イチゴは災害による冠水などで病害の発生リスクが高い点も気がかりです。自分で経営を守るようにしたいと、収入保険に加入しました。

昨年、仲卸業者の要望でとちおとめの栽培を始めました。しかし、静岡市内で栽培している人はほぼおらず、水管理など地域の気候に合わせた栽培ができませんでした。昨年は半年より収入が4分の1ほど減少し、今年の4月ごろ、保険金を受け取りました。

保険金はとてもありがたか



高設栽培に取り組む小澤さん

掛け捨てなしの積立方式が魅力

より良い経営目指し挑戦

つたです。私は10年前にLED D(発光ダイオード)の光合成補助装置を導入するなど、新しい技術や品種を積極的に導入するタイプです。今回の

市内でイチゴを栽培する知り合いの農家も、収入保険に興味を持ち、NOSAIの地区説明会に参加しています。私は今年からJAの理事も務めていて、JAの組合員にも収入保険を提案していきたいと思えます。

静岡市と、静岡市を管内とする二つのJAが、今年の加入申し込みから収入保険の保険料を補助すると聞きました。保険料は安いに越したことはなく、ありがたいです。

今後はとちおとめの栽培技術を習得し、大玉をつくって収入を伸ばしていきたいです。そのためにも、収入保険で経営を安定させることは欠かせません。(静岡市駿河区高松、63歳)